



— 地域交流拠点施設として活用 —

安心安全なコミュニティづくりを

3/30 三角町の旧三角センター跡地に三角復興会館が完成し、開所式が開かれました。同館は、熊本地震の被災者が暮らした仮設団地を再利用して市が建てたもの。施設内には、三角交番、婦人会管理の三角みんなの館、老人クラブ

1 三角復興会館開所式の様子 2 三角みんなの館内には洗面台も
3 コスモス会館の外観 4 松合地区市民館に木目が美しい会議室
5 同館開館式であいさつする松合西行政区長の中内朋大さん(50)

管理のパワフルみすみが入り、地域のコミュニティ活動を支える安心安全な交流施設として活用されます。また、1月には小川町にコスモス会館、3月31日には不知火町に松合地区市民館が誕生しています。



命を守る避難方法を伝えた防災ワークショップ

— 防災・減災フェスタ2022 in豊野が開催 —

子どもたちや地域住民の交流体験学習

4/16 防災意識の啓発・防災力の向上のため、豊野小中の体育館で防災・減災フェスタが開かれました。このイベントでは、豊野小中学生に三角幸三さんが命を守る避難方法を伝授。また、同日、豊野町の光照寺では防災縁日も開かれ、防災頭巾作りなど地域が一体となったさまざまな催しが行われました。



表彰された統計員が市長を訪問

— 総務大臣表彰などを受けたことを報告 —

長年の調査活動が評価

4/8 総務大臣表彰を受けた奥田利佳子さん(61)と熊本県統計協会会長表彰を受けた福岡富子さん(73)、林百合子さん(71)が守田市長を訪問しました。3人はそれぞれ「調査は根気のいる仕事。住民の声に耳を傾け、丁寧な説明と相手の立場に立った謙虚さを忘れないように心掛けている。」と表彰の喜びを報告しました。

市ホームページには、
たくさんの写真と詳しい
内容を掲載しています。



ま
ち
の
わ
だ
い
T
O
P
i
C
S

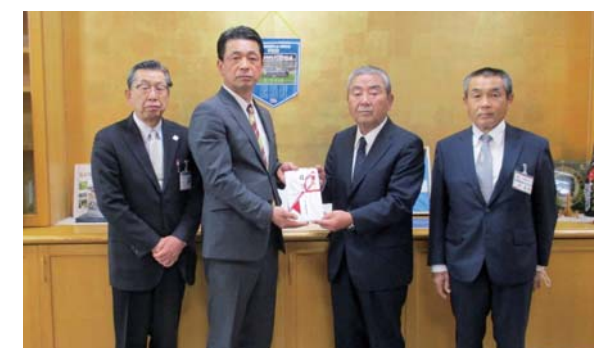


尾崎さん(中央)をはじめ表彰を受けた5人の皆さん(前列)

— 消防団表彰式を開催 —

234人の被表彰者を代表し表彰状を受領

3/18 長年にわたり、市の消防団活動に尽力した団員への表彰式が市役所で開催されました。この表彰は任務遂行に当たった消防団員のうち、その功労が特に顕著だった人に贈られるものです。式典では、234人の被表彰者を代表し、市長特別賞の尾崎洋治さん(58)他4人の皆さんが感謝状と記念品を受け取りました。



寄付金を手渡す丸田組合長と登常務(右側2人)

— JA熊本うきが市に寄付金を贈呈 —

宇城彩館の売り上げの一部を寄付

3/17 JA 熊本うきの丸田博雄代表理事組合長らが市役所を訪れ、守田憲史市長に寄付金を贈呈しました。これは、地域貢献のため宇城彩館の売り上げの一部を寄付しているもの。守田市長は「三角の物産館の運営に対しても感謝している。これからも協力して地域を盛り上げていきたい。」とお礼を述べました。



JR 小川駅西側に改札口と市道が開通

— 小川駅西口改札・小川駅西線開通式 —

県央の新しい定住拠点に

4/2 多くの被害を受けた熊本地震からの復興・復興を目指し、整備を進めてきた小川駅西口と市道小川駅西線が完成。開通式が行われました。守田市長は「西口からもアクセスできるようになったことで利用者の利便性が向上し、地域の活性化につながるものと期待している。」とあいさつしました。



高齢者叙勲を受章した福田さん(右)

— 旧5町のバランスを大事に —

市の発展に貢献

3/22 高齢者叙勲を受章した元市議会議員の福田俊男さん(88)が市役所を訪れ、守田市長から勲記と勲章が伝達されました。これは、小川町時代の平成2年から丸4期議会議員として地方自治の進展に貢献した功績がたたえられたもの。福田さんは「合併時は各町のバランスを大事にしながら取り組んでいた。」と議員時代を振り返りました。